

# 募集班長の模型部屋(第23回)

皆さんこんにちは。まだまだ冬景色ですが、カレンダーでは確実に春に向けて日々が過ぎています。春と言えば、全国の陸上自衛隊の駐屯地記念日が最も多く開催される時期でもあります。自衛隊ファンの皆様には待ち焦がれていることでしょう。さて、自衛隊記念日と言えば厳かな式典に訓練展示、そして堂々の「観閲行進」があります。隊員が隊列を組んで一糸乱れぬ行進をするのに対し、自衛隊車両が轟々と走る車両行進も見ごたえがあります。今回は、そのシーンを再現したキットが発売されたので作ってみました。



## M24軽戦車（観閲式仕様）です。

以前、イタレリのキットを紹介（高田所長の模型部屋：第13回）しましたが、今回はAFVクラブから発売された自衛隊仕様のM24軽戦車に観閲式の車長と装填手のフィギュアが付いて発売されたものを作成しました。可動ギミック満載のキットで、なかなか作り応えのあるキットでした。時代も警察予備隊、保安隊の頃ですので付属の戦車乗員の戦車服も違いますし、部隊名も「戦車」ではなく「特車」と記載されている等、最新キットにして昭和の雰囲気漂うキットとなっています。資料としたこの時代の観閲式の写真は、白黒で行進する場所も町の中と、まるで「ゴジラ」の映画を彷彿とさせます。でも、行進前の戦車の周りに黒山の人だかりが出来ている写真に、なぜか和んでしまいます。もちろん、私はこの頃の自衛隊を知りませんよ！私は74式戦車からですから！！



キットはストレート組みです。特に追加したディテールアップ部品等は使用していません。本当は、キャタピラをカステンのものに取り替えようとしたのですが、足回りに履かせるときに連結部分がポキポキ折れてしまって・・・あきらめてキット付属のベルト式を使用しました。



観閲行進では、操縦手も前方機関銃手も顔を出しますので、キットのままでは完全に再現できません。74式戦車の戦車隊員を改造して乗せました。顔が排気煙で煤けてます。



車長と装填手（旗手）です。キット付属のレジンフィギュアを乗せてます。原型が一緒なのか、二人の顔が一緒です（笑）戦車服はタミヤのディープグリーンを使用しています。私はダークグリーンよりこの色が一番イメージに近いと思うのですが・



今回初めて知ったのですが、こんなに小さい砲塔なのに12.7ミリ重機関銃が2丁も搭載されているんですね。もちろん使用の目的によるのでしょうか、使い難そうです。塗装はフラットブラックを塗った上に鉛筆の粉をまぶしてこすってます。



ベルト式のキャタピラには、ブラックの基本塗装にウェザリングスティックをこすり付けてます。転輪がトーションバーにより可動します。丁寧に動かさないと・・・折れそうです。



フェンダーの「1管 特車-3中」は「第1管区特車隊3中隊」を表します。（たぶん・・・）警察予備隊・保安隊の頃に、国民感情に配慮し戦う車である「戦車」ではなく、「特殊車両」の「特車」と呼称していました。その後、自衛隊となり、戦車と呼称されるようになります。当時の自衛隊に対するいろいろな問題があった時代。諸先輩方の苦勞がしのばれます。旗手が持っているのは戦車中隊旗で、橙色は機甲科を表し、白線1線は中隊を表します。車体の汚しは最小限にとどめています。



車体色はグンゼのブラウンバイオレットです。昭和時代のオリーブドラブの色はこの色がぴったりです。観閲行進の時は戦車をきれいに塗りなおし、洗うのはもちろん、光沢を出すためにエンジンオイルを塗ったときもあったと聞きます。2色迷彩になった今の車両は光沢を出すことはしませんが、塗り直すのは今も変わりません。どうですか。キャタピラの音を響かせながら戦車が走る観閲行進のシーンが見えてきませんか？

さて、今回は・・・作成中ですのでお楽しみに。ではまたお付き合いくださいね。